ごみダイエット作戦
目指せ!!
1人1日
10g減量！

「可燃ごみの処理費用は「重さ」で決まります！

今年の4月分から9月分までの市民1人当たりの可燃ごみ量は99・7kgで前年の同時期（97・9kg）と比較して、1・8kg増加しています。市民の皆さんが1人1日10g減量すると、年間で約840万円の処理費用が節減できます。節減できた処理費用は、ごみ出しが便利になる事業や他の行政サービスの充実に活用していきます。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

問い合わせ　環境課廃棄物対策担当

可燃ごみ減量の３つのポイント

point 1 分ければ資源！

リサイクル可能な紙類は「可燃ごみ」に出さず、「古紙・古布」の日か、地域の集団資源回収に出しましょう（市の歳入や実施団体の活動資金になります）。

▲不要の紙袋を「雑紙を入れる袋」として活用しよう。
ごみ箱の隣に置いておくと分別がとってもラク！
いっぱいになったら古紙としてリサイクル。

point 2 生ごみの水切り

水分の重さも処理費用に含まれます。水切りネットなどを上手に利用しましょう。また、生ごみはコンポストなどを利用し、ごみとして出さないような取り組みをしましょう。集積所へのごみ出しが軽く、楽になります！

point 3 枝葉や草の乾燥

草の水分や付着している土の重さも処理費用に含まれます。
庭木の枝葉や草などは、よく乾かしてから出しましょう。

▲長い枝葉はしっかり結ぼう。
次回の可燃ごみの日まで外で乾燥させて…

▲集積所に持って行きます！

生ごみ処理容器等を使ってみよう！

生ごみが肥料に変身！

コンポスト・EM容器

購入費用の２分の１を補助します。
※１基当たりの限度額は3,000円です。１世帯５年間で２基までとなります。

生ごみを乾燥・分解して減量！

電気式生ごみ処理機

購入費用の２分の１を補助します。
※１基当たりの限度額は２万円です。１世帯５年間で１基までとなります。

充電式の電池は市では回収していません

右記のリサイクルマークが付いている電池は、販売店の回収ボックスへ入れてください。

Ni-Cd
ニカド電池

Li-ion
リチウムイオン電池

Ni-MH
ニッケル水素電池

Pb
小形シール鉛蓄電池

まめ知識

ごみのゆくえ

日高市は、「可燃ごみ」の処理を、他の市町村のように焼却処分せず、市内のセメント工場に委託し、セメント製造時の原料および燃料としてリサイクルしています。このため、市で処理するごみ全体のリサイクル率は99.7％（平成29年度の実績）と、県内トップの成績を誇ります。

くりっかーの可燃ごみレポート

各家庭から出された可燃ごみの速報値です

令和元年９月の可燃ごみ		昨年同月との比較
全体量	929.02 t	+89.34 t
処理費用	38,126,981 円	+3,666,514 円
１人当たりの量	16.67 kg	+1.71 kg
１人当たりの処理費用	684 円	+70 円

問い合わせ　環境課廃棄物対策担当

市では、自治会や子ども会、PTA等が実施している集団資源回収を応援しています。家庭の新聞紙や段ボール、古布等を処分する際には、地域の集団資源回収をぜひご利用ください。

※数値は四捨五入しています。
※処理費用は、全体量に41,040円／ｔを乗じたものです。
※１人当たりは、当該月の総人口を基に算出しています。